

調べものの部屋には、中高生が調べものをするのに役立つ本など約1万冊があります。その中から2か月ごとにテーマを決めて選んだ本を、ウェルカム展示として入口で紹介しています。

※このリストは、展示時点で担当者が選んだものであり、テーマに関する網羅的な資料リストではありません。

「歌舞伎」は「従来の約束事にとらわれない自由な発想」をもとに、常に時代の流行を取り入れ、斬新な世界をつくりあげてきました。2008年ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）により無形文化遺産として登録された日本の伝統芸能を学んでみましょう。

テーマ：歌舞伎

▶ リストの見方

No.	書名（あれば巻号） 著者名(出版者, 出版年)【調べものの部屋請求記号】	【 】の中は、調べものの部屋のどこにあるかを示す請求記号（日本十進分類法を使用）です。
-----	---	---

▶ 歌舞伎を知る

1	かぶきの本 国立劇場調査養成部, 金森和子 編 (日本芸術文化振興会, 2010) 【774】	歌舞伎の舞台、扮装や化粧などの基礎知識や歌舞伎の魅力写真を多く用いて紹介しています。歌舞伎について全般的に知ることができ、「歌舞伎って、何?」という初心者にも理解しやすい内容です。
2	テーマで歴史探検 河合敦 著, さじろう 絵 (朝日学生新聞社, 2016) 【210】	城、すしなど、テーマごとに日本の歴史を学べる本。歌舞伎については、江戸時代の人気役者、独特の化粧である「隈取り」、しかけ・工夫のある舞台装置などを知ることができます (pp.100-119)。
3	一冊でわかる歌舞伎名作ガイド50選 鎌倉恵子 監修 (成美堂出版, 2012) 【774】	歌舞伎の名作・傑作の中から50作のあらすじやみどころを、鮮やかな舞台写真とともに紹介しています。巻末には「資料編」（歌舞伎用語や歌舞伎俳優の家系図・家紋と屋号など）が付いています。

▶ 歌舞伎を彩る衣裳・演出

4	演目別歌舞伎の衣裳鑑賞入門 丸山伸彦 監修 (東京美術, 2014) 【774.6】	登場人物の衣裳を写真や浮世絵とともに紹介しています。瞬時に衣裳を変える技法、舞台上で映えるように考えられた色や柄の組み合わせ、役者が動きやすいようアレンジされた衣裳など見ているだけでも楽しい内容になっています。
5	すぐわかる日本の伝統文様：名品で楽しむ文様の文化 並木誠士 監修 (東京美術, 2006) 【757】	歌舞伎の登場人物を表現する文様や、歌舞伎役者の名がついた文様などを紹介しています。役者は独自の文様を考案し、畳敷がこぞって着物や帯にその文様を取り入れることによって、流行し広まっていったようです (pp.144-145等)。
6	日本の伝統色配色とかさねの事典 長崎巖 監修 (ナツメ社, 2008) 【753.3】	歌舞伎役者が着た衣裳の染め色である「役者色」。色見本や色名とともに由来を紹介しています (pp.114-123)。
7	傘：和傘・パラソル・アンブレラ 第2版 (LIXIL BOOKLET) (LIXIL出版, 2016) 【383】	歌舞伎の中で使われる小道具の一つである「傘」について解説しています (pp.19-24)。傘の柄や文様、持ち方や操り方などが歌舞伎の舞台によりどのような効果や表現を与えるかを考察しています。
8	図解日本音楽史 増補改訂版 田中健次 著 (東京堂出版, 2018) 【768】	歌舞伎音楽の代表ともいえる「長唄」や効果音などの「下座（げざ）音楽」、歌舞伎を源流とした「日本舞踊」を紹介しています (pp.231-251)。「歌舞伎から派生した日常語」 (p.252、262) もあり。

▶ 歌舞伎を楽しむ

9	ニッポンの浮世絵 = JAPAN in UKIYO-E : 浮世絵に描かれた「日本のイメージ」 日野原健司, 渡邊晃 著, 太田記念美術館 監修 (小学館, 2020) 【721.8】	浮世絵には当時の人気歌舞伎役者や芝居小屋の様子も多く描かれました。似顔絵で描かれた役者絵はファンにはたまらない一枚であったようです (pp.122-127)。
10	絵でよむ江戸のくらし風俗大事典 棚橋正博, 村田裕司 編著 (柏書房, 2004) 【210.5】	江戸市民の楽しみの一つであった芝居（歌舞伎）見物を、江戸時代に刊行された草双紙の一種である黄表紙などに描かれた絵を用いて紹介します (pp.244-247)。当時の見物方法、舞台の様子を見ることができます。

過去の展示の資料リストは、当館HP上の「ウェルカム展示」に掲載しています。 (<https://www.kodomo.go.jp/use/room/teens/exh.html>)